

令和6年度総合戦略事業検証シート

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
施策の方向性	意欲ある人材が、本市で起業したいという希望をかなえることができるよう、これまでの創業セミナー等を引き続き実施するとともに、創業した事業者が安定的に事業を維持・継続できるようフォローアップ体制の構築を図っていきます。		
事業名	①創業支援事業	担当課名	商工観光課
事業内容	本市で「しごと」にチャレンジしたい個人等への支援を目的とした「創業セミナー」や「創業塾」（市商工会主催）を開催し、創業塾の所定の条件を満たした受講者は、特定創業支援等事業による支援を受けたことの証明を受けることができ、各種支援制度が活用できます。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
創業支援事業補助金（創業塾等の開催）	予算額	1,500,000 最終予算額	1,300,000 当初予算額	1,300,000 当初予算額	1,300,000 当初予算額	1,300,000 当初予算額	—
	執行額	1,500,000	1,169,000	1,232,000	1,300,000	1,300,000	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標					
		市内事業者従事者数 （経済センサス）		17,060人 (H28活動調査)		⇒		17,600人 (R7)	
重要業績評価指標状況（KPI）	KPIの内容	基準値		R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
	創業セミナー及び 創業塾の開催数	2回	KPI	2回	2回	2回	2回	2回	2回
			実績	2回	2回	2回	2回	2回	—
		評価（A～D）		A	A	A	A	A	—
	創業塾の参加者数	20人/年	KPI	20人	20人	20人	20人	20人	20人
			実績	24人	15人	24人	23人	31人	—
		評価（A～D）		A	D	A	A	A	—
	受講者のうち創業又は 事業拡大に繋がった数	4件	KPI	4件	4件	4件	4件	4件	4件
			実績	5件	3件	4件	3件	2件	—
		評価（A～D）		A	D	A	D	D	—
当該年度の取組内容と 事業効果 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。		日置市商工会と連携し、创业者の掘り起こしのために、創業を考えている方や創業に興味を持っている方などを対象に「創業セミナー」を開催。また、創業を本格的に考えている方や創業初期の方を対象に具体的な創業のための知識の習得を目的とした「創業塾」を開催した。							
取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。				課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。				
	創業セミナー及び創業塾について、参加者は確保できているが、創業まで至らないケースが多い。創業に至らない理由等の分析ができていない。				商工会などの関係機関と連携し、創業塾等受講者のニーズ把握を行い、セミナー及び創業塾の内容を検討していく。また、関係機関とのフォローアップ体制を構築する。				
「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。									
ニーズ調査の結果を踏まえながら受講者が創業まで至らない要因等を分析し、創業まで円滑に繋がるように創業希望者のフォローアップ体制を構築していく。									

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
 B： " 99%～90% D： " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
施策の方向性	若い世代や働き盛りにとって魅力ある職場を生み出すことができるよう、産業の振興と雇用の増加を図るための補助制度や民間事業者と行政との連携による新しい形の支援策により、地場産業の育成・強化を図ります。		
事業名	②新規創業者スタートアップ支援事業	担当課名	商工観光課
事業内容	本市の地域活性化と産業振興を図るため、市内で創業する者に対して創業に要する経費の一部を支援します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
新規創業者スタートアップ支援事業費補助金（創業に要する経費の一部を支援）	予算額	2,500,000 最終予算額	2,500,000 当初予算額	2,500,000 当初予算額	2,500,000 当初予算額	2,500,000 当初予算額	—
	執行額	2,009,000	2,256,000	1,469,000	2,100,000	1,995,000	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標					
		市内事業者従事者数 （経済センサス）		17,060人 （H28活動調査）⇒17,600人 （R7）					
重要業績評価指標状況 （KPI）	KPIの内容	基準値		R 2 （1年目）	R 3 （2年目）	R 4 （3年目）	R 5 （4年目）	R 6 （5年目）	R 7 （最終年）
	（再掲）受講者のうち 創業又は事業拡大に繋 がった数	4 件	KPI	4件	4件	4件	4件	4件	4件
			実績	5件	3件	4件	3件	2件	—
		評価（A～D）		A	D	A	D	D	—
			KPI						
			実績						
		評価（A～D）							
			KPI						
			実績						
		評価（A～D）							
当該年度の取組内容と 事業効果 ※ なるべく数字（金額、人 数等）を用いて記入してくだ さい。		令和6年度新規創業者スタートアップ支援事業費補助金については、6事業者（うち受講2事 業者）が活用し、市内で創業した。 令和5年度：5事業者（うち創業セミナー・創業塾の受講者3事業者） 令和4年度：6事業者（うち創業セミナー・創業塾の受講者4事業者）							
取組 の 検 証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっ て いる内容について記入してください。				課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。				
	創業支援事業受講者のうち、2事業者が創業しているが、全数とし ては未だ少ない状況。特定創業支援等事業に限らず、あらゆる 関係団体と連携を図りながら、創業希望者の掘り起こしが必要で ある。				新規創業者の掘り起こしを行うために、商工会などの関係機関と 連携体制の構築を行い、創業希望者へ効果的な情報発信を行う仕 組みづくりを検討する。				
「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。									
創業支援事業との施策効果を高めるため、創業までのフォローアップ体制と併せて、創業後も安定的に事業を維持・継続できるようなフォ ローアップ体制も構築できるように検討を進めていく。									

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
B： " 99%～90% D： " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
施策の方向性	地域経済の活性化及び地元雇用の推進を図るため、本市への進出を希望する事業者等への積極的なアプローチを図っていきます。また、企業立地促進補助制度や優遇制度の実施等により、市内外の事業者が工場等の新設や増設等による事業拡大と雇用の増加を図ろうとする際に、立地しやすい環境づくりに努めます。		
事業名	③工場等立地促進補助 (企業安定雇用創出補助金を含む)	担当課名	商工観光課
事業内容	市内に工場等を新設、増設又は移転する場合(一定の要件あり)に一定額の補助を行い企業等の規模拡大を支援します。 (企業安定雇用創出補助金:雇用に重点を置き、新增移設の企業が地元で新規雇用を行う場合(一定要件有、工場等立地促進補助との併用は不可)に補助金を交付します。)		

単位:円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (5年目)	R7 (最終年)
工場等立地促進補助金 ・NBフード(株)食肉加工工場新設(R6.6.12) ・(株)タバタ本社屋・工場増設(R6.10.18)	予算額	29,671,000	0	60,000,000	57,152,000	52,421,000	—
	執行額	29,671,000	0	22,709,000	12,152,000	52,421,000	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標				
		市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査) ⇒ 17,600人 (R7)				
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (5年目)	R7 (最終年)
	企業誘致・増設件数 (立地協定件数)	1件/年	KPI	1件	1件	1件	1件	1件
			実績	0件	6件	4件	2件	0件
		評価(A~D)		D	A	A	A	D
	補助金交付企業に係る 新規雇用者数	5人/年	KPI	5人	5人	5人	5人	5人
			実績	10人	0人	14人	21人	29人
		評価(A~D)		A	D	A	A	A
			KPI					
			実績					
		評価(A~D)						
	当該年度の取組内容と 事業効果	徳重工業団地1企業、清藤工業団地1企業の計2企業との商談を実施した。 立地協定は締結しなかったが、清藤工業団地のてまひま堂が本市へ本社を移転した。 ※なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	企業が新設・増設など設備投資に対し、物価高騰などの影響で躊躇している状況である。企業の悩みなどニーズを把握するため、県や関係機関と連携を図り、定期的な訪問を行うなど情報収集が必要ある		企業動向を把握するため、定期的に企業訪問を図り、県など関係機関と情報共有を行い、必要な支援を実施する。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。	
今後も引き続き既存の企業への動向把握に努めながら、事業拡大(増設)に意欲のある企業に対し、関係機関と連携を取りながら必要な支援に努めたい。 また企業誘致に関しては、民間事業者と物件情報など共有を行いながら、立地希望の企業に対し、提供できるように努める。	

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A: KPIに対して実績が100%以上 C: KPIに対して実績が89%~80%
B: 99%~90% D: 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
施策の方向性	市内に住む高校生等が地元企業への理解や将来の就職に向けて考える機会を創出するため、地元企業との連携による合同企業説明会を引き続き開催します。		
事業名	④合同企業説明会の開催	担当課名	商工観光課
事業内容	地元高校生が地元企業への理解や就職に向けて考える機会を創出するため、高校生及び社会人等を対象とした合同企業説明会を開催して人材確保と地元雇用を目指す。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (5年目)	R7 (最終年)
送迎用バスリース代49,500円、会場設営リース料418,000円、連携中枢都市圏合同企業説明会負担金419,800円	予算額	695,000 最終予算額	1,231,000 当初予算額	870,000 当初予算額	862,000 当初予算額	1,037,000 当初予算額	—
	執行額	558,914	288,900	620,329	752,950	887,300	—

基本目標における数値目標		区分		数値目標				
		市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査) ⇒ 17,600人 (R7)				
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (5年目)	R7 (最終年)
	市内高校新卒全就職者に占める日置市内への就職者の割合(3ヶ年平均)	9.76%	KPI	10.00%	10.30%	10.50%	10.80%	11.00%
			実績	8.20%	6.40%	6.13%	5.99%	6.07%
			評価(A～D)	C	D	D	D	D
	※参考 説明会参加の高校生がアンケートで「参考になった」と回答した割合	90.2%(H30)	KPI	—	—	—	—	—
			実績	93.80%	—	—	98.68%	—
			評価(A～D)	—	—	—	—	—
			KPI					
			実績					
			評価(A～D)					
	当該年度の取組内容と事業効果 ※なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。	・令和6年6月26日「企業の魅力説明会」高校就職指導担当者14人参加、企業40社参加 ・令和7年1月13日「連携中枢都市圏4市合同企業説明会」日置市14社参加、126人参加 ・令和7年1月27～28日「日置市異業種交流懇話会と吹上高校生との交流会」 交流会：高校生159人、企業13社。工場見学：企業4社 ・令和7年2月26日「しごと発見！高校生のための合同企業セミナー」 高校2年生及び保護者 236人参加、企業40社参加。						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	市内企業は、若年層に限らず人材確保が困難になっている。地元雇用を定着させるためには、中高生向けに職場体験など直接地元企業と交流するキャリア教育の実施が必要である。		「企業の魅力説明会」「異業種交流懇話会と吹上高校との交流会」「合同企業セミナー」など様々な機会を契機に高校と企業との情報交換・工場見学や交流の場を有効活用する。高校生から企業情報の取得に関するアンケート結果を企業に情報提供を行い、企業の採用力向上に繋げる。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。	
かごしま連携中枢都市圏及び地元企業と連携しながら、企業セミナー、企業面談会及び企業の工場見学などの機会を継続的に実施していく。また企業間交流の更なる促進を狙い、企業の階層別に研修等を実施し、企業が抱える課題を共有して解決に向けて取り組みを進めていく。	

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
 B： 99%～90% D： 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
施策の方向性	生産者等の高齢化や後継者不足により1次産業の従業者数は減少傾向で推移しており、基幹産業として本市の経済を支えている1次産業は、危機的な状況を迎えています。このような状況を踏まえ、将来を担う意欲的な人材を確保するため、後継者及び新規就業者に対する支援を行います。		
事業名	⑤農林水産業の後継者、新規就業者及び担い手農家への支援	担当課名	農林水産課
事業内容	農林水産業の後継者や新たに就業する者に対して、技術の習得から就業後の定着までの期間（後継者1年・新規就業者2年）、生活費や所得の支援（一定額）を行います。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (5年目)	R7 (最終年)
R6年度実績 新規就農・後継者育成事業費 4名 2,750,000円 農業次世代人材投資事業 夫婦1組 2,250,000円 単身14名 18,625,000円 経営発展支援事業 1名 7,500,000円	予算額	22,842,690	21,075,000	26,985,000	31,795,000	31,125,000	—
	執行額	22,842,690	24,075,000	26,937,600	31,605,700	31,125,000	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標					
		市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査)		⇒ 17,600人 (R7)			
重要業績 評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	 R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)	
	農林漁業の新規後継者、新規就業者数	10人/年	KPI	10人	10人	10人	10人	10人	10人
			実績	3人	7人	6人	5人	0人	—
		評価 (A～D)		D	D	D	D	D	—
	農林水産業就労相談会等の参加回数	2回/年	KPI	2回	2回	2回	2回	2回	2回
			実績	13回	7回	6回	2回	2回	—
		評価 (A～D)		A	A	A	A	A	—
			KPI						
			実績						
		評価 (A～D)							
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。		新規就農希望者を受け入れるため関係機関と連携し確保・育成に向けた支援体制のあり方等を検討した。また、農林水産業就労相談会を開催して新規就農者の確保に努めた。							
取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。			課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。					
	新規就農希望者にとって、ハウスの初期投資額は就農を選択する上で大きな不安要素となるため、新規参入者を増やす取組みの1つとして空きハウスの情報共有体制、ハウス整備等に着手していく必要がある。			新規就農希望者に空きハウスを紹介(マッチング)できる体制を整備するため、農業者へ将来の農業経営をどうしていくつもりか、規模縮小を考えている場合はハウスの処分はどうするつもりかなど、農業者の意向を把握するためヒアリング調査を実施する。					
「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。									
農業者へのヒアリング調査で得た情報を整理し、新規就農希望者に空きハウスを紹介して初期投資額の負担を軽減することで新規就農者の確保を図っていく。									

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A : KPIに対して実績が100%以上 C : KPIに対して実績が89%～80%
B : " 99%～90% D : " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
施策の方向性	農林水産業を強い産業とするために、農業では新規作物の開拓支援や「いちごの農業ICTツール」の活用に加え、畜産や水田営農へも導入を検討することでスマート農業（Society5.0）の推進による省力化・技術継承を図ります。		
事業名	⑥新規作物の開拓支援	担当課名	農林水産課
事業内容	1次産業の活性化や後継者、新規就農者の生産意欲の向上等を目的として、地域に適した新規作物の生産及び拡大を支援します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (5年目)	R7 (最終年)
薬草日置栽培部会運営補助	予算額	100,000 最終予算額	90,000 当初予算額	90,000 当初予算額	90,000 当初予算額	90,000 当初予算額	—
	執行額	100,000	90,000	90,000	90,000	90,000	—

基本目標における数値目標		区分		数値目標					
		市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査) ⇒ 17,600人 (R7)					
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値		R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (5年目)	R7 (最終年)
	薬草作物の新規農家数	7人	KPI	3人	3人	3人	3人	3人	3人
			実績	4人	3人	2人	3人	1人	—
		評価 (A～D)		A	A	D	A	D	—
			KPI						
			実績						
	評価 (A～D)								
	当該年度の実績内容とその効果 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。		本年度については、新規耕作者を含め6名で1.8haの栽培面積で耕作を行った。栽培技術の向上と選別作業の機械化により、労働力削減が図れている。						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	生産技術は向上しているものの、令和6年度は異常気象により収穫量が減少したことで新規耕作農家が目標より減少した。特に種の収穫量が令和5年度に引き続き皆無であり、販売額としては根収穫量が増加しているため大きな減少までは至らないものの、経営の安定化を図るためには種収穫量の向上が課題である。		栽培技術や選別作業の機械化は図れていることから、令和7年度は温暖化や台風、暖冬と異常気象に臨機応変に対応した管理体制の見直しを行う。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。	
温暖化や台風、暖冬と異常気象に対応した管理体制を確立し、面積と耕作者の増加を図ることで産地化を目指すとともに経営の安定化を目指す。	

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
B： " 99%～90% D： " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
施策の方向性	農林水産業を強い産業とするために、農業では新規作物の開拓支援や「いちごの農業ICTツール」の活用に加え、畜産や水田営農へも導入を検討することでスマート農業（Society5.0）の推進による省力化・技術継承を図ります。		
事業名	⑦農業IoTの活用	担当課名	農林水産課
事業内容	農業IoTを活用し、篤農家の栽培技術を共有し、新規就農者の確保と生産性の向上を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (5年目)	R7 (最終年)
—	予算額	— 最終予算額	— 当初予算額	— 当初予算額	— 当初予算額	— 当初予算額	—
	執行額	—	—	—	—	—	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標					
		市内事業者従事者数 （経済センサス）		17,060人 （H28活動調査）		⇒ 17,600人 （R7）			
重要業績評価指標状況（KPI）	KPIの内容	基準値		R 2 （1年目）	R 3 （2年目）	R 4 （3年目）	R 5 （4年目）	R 6 （5年目）	R 7 （最終年）
	いちご若手農家の収量 （単収）をいちご部会全 体平均まで向上	3,100kg	KPI	3,100kg	3,150kg	3,200kg	3,250kg	3,250kg	3,300kg
			実績	3,757kg	3,930kg	3,891kg	4,190kg	未測定	—
		評価（A～D）	A		A	A	A	—	—
	いちご部会全体の単収 を5％アップ	209百万円	KPI	—	220百万円	—	—	—	—
			実績	—	330百万円	—	—	—	—
		評価（A～D）	—		A	—	—	—	—
	いちご部会全体の販売 高15%増	209百万円	KPI	—	—	241百万円	—	—	—
			実績	—	—	386百万円	—	—	—
		評価（A～D）	—		—	A	—	—	—
当該年度の取組内容と 事業効果 ※ なるべく数字（金額、人 数等）を用いて記入してくだ さい。	e-kakashiを活用することでデータの「見える化」と科学的根拠に基づいた栽培管理に努めた。 また、オリーブ栽培では、引き続き生産技術の動画配信サービスを提供することにより、栽培技術の向上に努めた。								
取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっ ている内容について記入してください。				課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。				
	e-kakashiで収集したデータをシステム上で管理するにあたり、 一部利用者についてはシステムの操作が不慣れなためシステム上 での栽培管理が出来ていない。				業者と協力してシステム管理の簡素化を図るとともに、総会等の 機会を使って利用者の操作習熟を図る。				
「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。									
部会員へ制御技術のポイントについて研修会等を通じて理解促進に努めるとともに、環境制御を実践された優良事例の収集と技術の周知により単収の高位平準化を目指していく。									

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
B： 99%～90% D： 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
施策の方向性	農林水産業を強い産業とするために、林業では施業困難とされている搬出作業の改善のための必要な林道整備を実施します。		
事業名	⑧日置市らしさを感じる魅力と活力あふれるまちづくり計画（林道）	担当課名	農林水産課
事業内容	国道3号・270号を中心に主要地方道や県道にアクセスする市道24路線及び林道2路線の道路拡張等を行うことにより、観光資源を結ぶ効率的な道路網のネットワーク化をはじめ、森林施業における効率化を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
用地測量A=3.23ha 土地購入A=5,589.92㎡ 工事L=27.0m	予算額	4,620,000	81,996,000	132,227,000	109,156,000	41,614,000	—
	執行額	4,620,000	22,553,000	64,378,415	62,757,420	36,045,936	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標					
		市内事業者従事者数 （経済センサス）		17, 060人 （H28活動調査）		⇒	17, 600人 （R7）		
重要業績評価指標状況（KPI）	KPIの内容	基準値		R 2 （1年目）	R 3 （2年目）	R 4 （3年目）	R 5 （4年目）	R 6 （5年目）	R 7 （最終年）
	林業の素材生産量	16, 500㎡	KPI	16, 600㎡	16, 700㎡	16, 800㎡	16, 900㎡	17, 000㎡	17, 100㎡
			実績	6, 389㎡	15, 063㎡	29, 413㎡	34, 117㎡	未測定	—
		評価（A～D）		D	B	A	A	—	—
			KPI						
			実績						
		評価（A～D）							
			KPI						
			実績						
		評価（A～D）							
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。		繰越予算において、工事（林道矢筈線（5-1工区）：施工延長L=27. 0m）を実施した。 また、用地測量A=3. 23haを実施し、5, 589. 92㎡の用地買収を行った。							
取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。				課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。				
	近年、林業に従事する人の数が減少し、高齢化が進んでいる。これにより、熟練した技術の継承が困難になり、後継者不足が深刻化している。また、高性能林業機械が入らず搬出の際に迂回する現状にあるため、木材搬出が非効率化しており早急な林道整備が求められている。				今年度4月にかごしま林業大学校が開校しており、本市もかごしま林業大学校サポートチームのメンバーとなっている。林業後継者の育成に向けて、林業大学校や県、その他関係機関との連携を図っていく。また、林道整備により高性能林業機械等を使用した効率的かつ低コストな施業により林業・木材産業の生産活動の向上を図る。				
「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。									
整備に向け計画的に進めている。									

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
 B： 99%～90% D： 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
施策の方向性	地域に根付く産品や農作物等に磨きをかけ、付加価値を高めていく取組を事業者・関係団体等と協働で行い、本市独自の「ひおきブランド」の確立を目指します。この取組を通して、日置市の認知度の向上に繋げるとともに、市内業者等による商品開発や、市外・海外市場への販路開拓及び販路拡大を図ります。		
事業名	⑨商品開発支援事業	担当課名	商工観光課
事業内容	日置市らしい商品の開発により、ひおきブランドを確立し、地域活性化及び産業の振興を図るため、本市の特色を生かした商品の開発を行う事業者に対し、その商品開発等に係る経費の一部を支援します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
商品開発支援事業費補助金 (商品開発等に係る経費の一部を支援)	予算額	1,000,000 最終予算額	1,000,000 当初予算額	1,000,000 当初予算額	1,000,000 当初予算額	1,000,000 当初予算額	—
	執行額	283,000	943,000	761,000	276,000	737,000	—

基本目標における数値目標		区分		数値目標					
		市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査)			⇒ 17,600人 (R7)		
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値		R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
	新商品開発件数 (商品開発支援事業費補助金活用件数)	2件/年	KPI	2件	2件	2件	2件	2件	2件
			実績	2件	5件	4件	3件	4件	—
		評価 (A～D)		A	A	A	A	A	—
			KPI						
			実績						
		評価 (A～D)							
			KPI						
			実績						
		評価 (A～D)							
当該年度取組内容と事業効果 ※ なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。	令和6年度商品開発支援事業費補助金については、4つの事業者が活用し、本市の特色を生かした商品開発を行った。								
取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。				課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。				
	事業の趣旨など周知が不足しているため広く広報する必要がある。また、金銭的支援だけでなく、商品開発に対する基礎知識を学ぶ場の提供や、商品開発や商品のブラッシュアップに対する伴走支援も必要である。				多くの事業者が本補助金を活用し、新商品開発による販路拡大や売上向上等につながる取組の一助となるよう、関係機関とも協力し事業の周知を図る。令和7年度は、ひおき特産品開発アカデミーを開催し、事業者のスキルアップと商品のブラッシュアップを支援する取組を実施する。				
「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。									
成果・費用対効果を維持し、継続して実施していく。									

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A: KPIに対して実績が100%以上 C: KPIに対して実績が89%～80%
 B: 99%～90% D: 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
(令和6年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
施策の方向性	地域に根付く産品や農作物等に磨きをかけ、付加価値を高めていく取組を事業者・関係団体等と協働で行い、本市独自の「ひおきブランド」の確立を目指します。この取組を通して、日置市の認知度の向上に繋げるとともに、市内業者等による商品開発や、市外・海外市場への販路開拓及び販路拡大を図ります。		
事業名	⑩ひおき特産品コンクール	担当課名	商工観光課
事業内容	多様化する消費者ニーズに対応した売れる商品づくりを促進するため、既存の特産品や新たに開発・製造・改良された商品のコンクールを開催します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
「ひおき特産品コンクール」 事業に要する経費 ・審査員謝金 ・PR動画作成	予算額	—	—	—	1,411,000 当初予算額	1,380,000 当初予算額	—
	執行額	—	—	—	1,354,700	1,338,000	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標					
		市内事業者従事者数 （経済センサス）		17,060人 （H28活動調査）		⇒	17,600人 （R7）		
重要業績評価指標状況（KPI）	KPIの内容	基準値							

取組の検証	事業実施における課題	課題に対する改善策
	※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	※ 課題の対応策を記入してください。
	出品されていない事業者や商品が多くあるため、出品することがメリットとなるPR方法について模索する必要がある。 また毎年新商品を開発してコンクールに出品することが難しいとの事業者の意見もあるためコンクールの実施方法についても検討する必要がある。	PR方法について、他自治体実施事業や民間企業実施事業等を調査し、より効果的なものがないか模索する。 商品開発支援事業と連携し、商品開発に対する基礎知識を学ぶセミナーの提供や商品開発や商品のブラッシュアップに対する伴走支援を実施する。

※ 「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

ふるさと納税の申込増加や販路拡大等、直接事業者にメリットとなるPR方法を模索した上で実行に移し、更なる日置市の特産品を市内外にPRを行っていく。

出品するための商品開発への意欲向上を図っていく。

コンクールの開催方法を検討し、事業者が参加しやすいコンクールを目指す。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
(令和6年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
施策の方向性	オリーブ栽培は、年々収穫量が増加していく中で搾油施設の設置をはじめ、鹿児島オリーブ㈱の開業により6次産業化（生産＋加工＋流通）が図られています。今後、搾油量を安定的に供給するための生産量の増加に努めつつ、消費を喚起するイベントの開催や新商品開発や搾油時に排出されるオリーブミール（搾りカス）の再利用についても、畜産農家、各関係機関団体等と連携・協力し、商品化に向けて検討していきます。		
事業名	⑫オリーブ産業プロジェクト	担当課名	農林水産課
事業内容	新たな産業創出として始まったオリーブを生産・加工・流通までの6次産業化の更なる体制を構築させることで、担い手農家のための基幹作物の位置付けをはじめ、新商品開発やイベントを通じた消費喚起による地域経済の活性化を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
試験圃場の管理、部会運営補助、小豆島からの講師謝金、先進地視察旅費	予算額	3, 889, 000 最終予算額	14, 680, 000 最終予算額	9, 247, 000 最終予算額	3, 387, 000 最終予算額	3, 577, 000 最終予算額	—
	執行額	3, 540, 000	10, 586, 000	8, 701, 898	2, 752, 976	3, 219, 395	—

基本目標における 数値目標			区分		数値目標				
			市内事業者従事者数 （経済センサス）		17,060人 （H28活動調査）		⇒ 17,600人 （R7）		
重要業績 評価指標 状況（KPI）	KPIの内容		基準値	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
	オリーブの植栽本数 （R 5まで）	650本	KPI	720本	790本	860本	930本	－	－
			実績	362本	74本	52本	0本	－	－
		評価（A～D）	D	D	D	D	－	－	
	オリーブの収穫量 （R 5まで）	4,020kg	KPI	5,832kg	7,644kg	9,456kg	11,268kg	－	－
			実績	499kg	2326kg	2,460kg	4,594kg	－	－
		評価（A～D）	D	D	D	D	－	－	
	オリーブ栽培農家数 （R 5まで）	10人/年	KPI	10人	10人	10人	10人	－	－
			実績	11人	2人	4人	0人	－	－
		評価（A～D）	A	D	D	D	－	－	
オリーブの出荷量 （R 6から）	2460.7kg (令和4年度)	KPI	－	－	－	－	3,200kg	3,400kg	
		実績	－	－	－	4,594kg	1,328kg	－	
	評価（A～D）	－	－	－	－	D	－		
オリーブ出荷農家数 （R 6から）	27人 (令和4年度)	KPI	－	－	－	－	50人	50人	
		実績	－	－	－	31人	27人	－	
	評価（A～D）	－	－	－	－	D	－		
当該年度を取組内容と 事業効果 ※ なるべく数字（金額、人 数等）を用いて記入してくだ さい。			前年が過去最高の収穫量となったことの反動で隔年結果が起こり花芽の数が少なかったことと、過去に例を見ない早さで4月中旬に開花が始まり梅雨前であったものの、受粉時期の集中した降雨により着果が阻害された。さらに8月末の台風10号の上陸を受け、多くのほ場で倒木等の被害が発生したことにより、収穫量は前年度4,594kg対して1,328kgと前年度比72%減となった。オイルの搾油については、台風襲来に伴う適熟期前の早期収穫を生産者に指示したことにより前年度の6.43%から3.52%とこちらも大幅に低下した。						
取組の 検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっ ている内容について記入してください。					課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。			
	隔年結果が起こることが試験圃場で確認されたこともあり、適正なせん定による着果制限を行うとともに、強風対策も含めた風通しをよくするせん定技術の向上が必要である。 また、高齢化による栽培管理の継続が課題となっている。					個別の巡回指導を定期的に行い、ゾウムシによる枯れと課題となっているせん定技術の理解促進に努めるとともに、農地所有適格法人等との連携を図り、持続可能な生産体制の構築を図る。			
「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。									
総会時等に出荷者と試験ほ場の樹1本あたりの平均収量や最高収量を年次ごとに示し、年生やせん定などの栽培管理による実態を明らかにするとともに、出荷実績がある方へは個人ごとの樹1本あたりの収穫目標を設定することで、出荷量の増加につなげていく。									

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

A : KPIに対して実績が100%以上	C : KPIに対して実績が89%~80%
B : " 99%~90%	D : " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
施策の方向性	安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを推進するため、妊娠・出産・産後・子育てなどのきめ細かな相談体制の充実を図るとともに、不妊に悩む夫婦の精神的及び経済的負担の軽減を目的とした不妊治療費の一部助成や出産後の育児支援を目的とした宿泊型産後ケア施設の一部助成のほか、予防接種スケジュールの確認や子育て情報を配信する子育てワンストップサービスにより、妊娠から出産、育児までの一体的なサポート体制で支援します。		
事業名	③母子保健事業（不妊治療関係事業）	担当課名	健康保険課
事業内容	・安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりを推進するとともに、不妊に悩む夫婦の精神的負担及び経済的負担の軽減を図るため、不妊治療の助成を行います。 ・産後の体調や育児に不安のある母子を対象に、心身のケアや子育て環境を整えるノウハウなどの支援を受けられるよう助産所等の入所費用の一部助成を行います。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
【母子保健事業】 不妊等治療費助成事業 産後ケア事業（宿泊・日帰り・訪問）	予算額	6,982,000	8,100,000	10,130,000	11,020,000	10,980,000	—
	執行額	5,362,340	6,238,866	3,564,940	7,322,350	8,832,900	—

基本目標における数値目標			区分		数値目標					
			合計特殊出生率 (5年平均)		1.62 (H29)		⇒		1.68 (R7)	
重要業績評価指標状況（KPI）	KPIの内容		基準値		R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
	※参考 母子保健事業での不妊治療件数	68件 (H30)	KPI	—	—	—	—	—	—	—
			実績	68人	65人	49人	79人	76人	—	
		評価（A～D）		—	—	—	—	—	—	
	※参考 母子保健事業利用者の妊娠率	44.1% (H30)	KPI	—	—	—	—	—	—	—
			実績	44.9%	55.0%	55.0%	64.6%	44.7%	—	
		評価（A～D）		—	—	—	—	—	—	
			KPI							
			実績							
		評価（A～D）								
当該年度の取組内容と事業効果		【不妊治療】 ・妊娠率：妊娠に至った件数34件/76件＝44.7% ・不妊治療と不育症治療に対し1/2の補助を行い、令和5・6年度に治療をしている対象者延べ99人（実人数76人）に対して補助をした。一人当たり平均が、窓口負担額171,000円に対し、65,900円助成となった。治療が高額となる先進医療に対しても補助しているため、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図れた。 【産後ケア】 令和6年度から鹿児島県産後ケア推進事業を活用し5回目までの利用料を無料とした。そのため、宿泊型がR5年度32件がR6年度は47件に、日帰り型がR5年度が23件からR6年度は53件に増加した。産後ケアで産後の心身のケアや子育てへの支援を行った。								
取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。					課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。				
	鹿児島県も先進医療の一部治療に対して助成を行っているが、県の助成を受けずに申請するケースがあった。また、日置市は治療後1年間は申請ができるが、鹿児島県の助成金は年度末の3月31日となっているため、申請に間に合わずあきらめる人もいる。 産後ケアの利用料を5回目まで無料としたことで、利用者数が増えている。対応可能施設の確保と産後ケアの質の確保が必要である。					不妊治療の助成を受ける前に、登録をしてもらっているのので、登録者に対して鹿児島県の助成金について手紙や窓口で直接周知を図り、少しでも負担が減るように周知を図る。 産後ケア施設については、鹿児島市の施設を含め、対応施設が増えてきている。新規の産後ケア施設については契約前に聞き取り等を行い、また現在契約している施設については月の事業報告書の確認を行い、安心してケアが受けられる施設の確保を行う。				
	「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。									
不妊治療については、事前に登録をもらっているのので、1月頃に市の助成金の案内と鹿児島県の助成金の周知について手紙で直接行う。 産後ケアについては、産後の体調や育児不安を少しでも軽減できるように令和7年度も利用料を5回目まで無料とし、利用しやすい体制を継続する。利用状況を見て、対応施設の確保に努め、また、産後ケアの質が低下しないように契約の前に担当者が施設確認を行い、事業内容の充実を図る。										

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
 B： 99%～90% D： 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
施策の方向性	赤ちゃんの誕生を祝い、今後の健やかな成長を願うことを目的として、地元企業との連携による「マタニティボックス」を配布することで、連携企業との付加価値の高い商品開発につなげていながら、本市の住みやすさ満足度向上を図ります。		
事業名	⑭マタニティボックス配布事業	担当課名	健康保険課
事業内容	赤ちゃんの誕生を祝い、今後の健やかな成長を願うことを目的として、地元企業と連携し赤ちゃんグッズ等が入ったマタニティボックスを配布することで子育てしやすいまちづくりを目指します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
赤ちゃんが生まれた世帯に、子育てに必要な実用品等を詰め合わせた「マタニティボックスひおきコウノトリ便」を配布	予算額	7,000,000	7,000,000	7,000,000	5,000,000	5,000,000	—
		最終予算額	当初予算額	当初予算額	当初予算額	当初予算額	
	執行額	7,000,000	7,000,000	7,000,000	4,000,000	4,400,000	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標					
		合計特殊出生率 (5年平均)		1.62 (H29)⇒1.68 (R7)					
重要業績 評価指標 状況（KPI）	KPIの内容	基準値		R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
	子育て世代（25～39歳） の人数（住民基本台帳） ※毎年1月1日基準	6,233人	KPI	6,046人	5,865人	5,689人	5,518人	5,352人	5,191人
			実績	6,057人	6,885人	5,730人	5,564人	5,405人	—
		評価（A～D）		A	A	A	A	A	—
	マタニティボックスの満 足度（満足・やや満足と 回答された方の割合）	90.00%	KPI	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
			実績	97%	93%	94%	97%	93%	—
		評価（A～D）		A	A	A	A	A	—
			KPI						
			実績						
		評価（A～D）							
当該年度の取組内容と 事業効果 ※なるべく数字（金額、人 数等）を用いて記入してくだ さい。		主に、出生届出児にマタニティボックスを家族に直接配布を行った。3～5か月時にアンケートを行 い、170人から回答いただいた。158人が「満足・やや満足」、11人が「どちらでもない」、1人が「不 満」という回答をもらった。 品物の意見については個人差があるが、自由意見では日置市として子育てに対して応援したいという気 持ちがうれしいといった喜びの声等をもらっている。							

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	内容に対する意見が出たり、年子の場合中身が重複するため改善を求める声があった。		令和6年度12月配布分からボックスのサイズを小さくして、運びやすく保管しやすいように改善した。年子への対策として、親子で遊べるように布絵本や布おもちゃなど中身の一部変更を行った。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

国の妊婦のための給付金での現金配布や、民間事業者による類似の取り組みも出てきているため、事業の内容や目的について検討が必要。しかし、日置市として出産や子育てを応援しているという気持ちを伝えるため、事業を継続し、今後は、地域で子育てを応援する機運を作っていくため、内容の変更や、配布の方法を見直す。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A : KPIに対して実績が100%以上 C : KPIに対して実績が89%～80%
B : " 99%～90% D : " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
施策の方向性	結婚・出産・子育て世代へのアンケート調査では、少子化に歯止めをかけるために力を入れるべき取組として「経済的な負担の軽減」との回答が最も多くなっている状況を踏まえ、医療費の助成の対象範囲を中学生まで引き続き実施します。		
事業名	⑮子ども医療費の助成	担当課名	こども未来課
事業内容	経済的負担の軽減を図るため、子ども医療費の助成を「中学卒業まで」引き続き実施します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
保険料診療に係る一部負担金の助成	予算額	127, 700, 000 最終予算額	144, 000, 000 当初予算額	144, 000, 000 当初予算額	164, 000, 000 最終予算額	166, 382, 000 最終予算額	—
	執行額	127, 764, 911	133, 069, 419	141, 789, 476	160, 598, 580	162, 290, 252	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標				
		合計特殊出生率 (5年平均)		1. 62 (H29)⇒1. 68 (R7)				
重要業績 評価指標 状況（KPI）	KPIの内容	基準値	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
	※参考 受給者数 (各年3月31日時点)	KPI	—	—	—	—	—	—
		実績	5, 534人	5, 534人	5, 613人	5, 487人	5, 342人	—
	評価（A～D）		—	—	—	—	—	—
	※参考 医療費対象件数	KPI	—	—	—	—	—	—
		実績	69, 345件	69, 585件	70, 647件	73, 214件	81, 123件	—
	評価（A～D）		—	—	—	—	—	—
	当該年度の取組内容と 事業効果 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。	KPI						
		実績						
		評価（A～D）						
実績額 162, 290, 252円 ・子どもたちの疾病、怪我に掛かる医療費を子ども医療で対応することで、子育て世帯の負担軽減を図ることができた。特にマイコプラズマ、リンゴ病、インフルエンザ、コロナウイルス感染症等の流行性の疾病において家計を圧迫する医療費を子ども医療で対応することで、経済的理由により受診を控えることで起きる症状の重症化防ぎ、子どもたちの健康増進に寄与することができた。 ・R7年4月開始の子ども医療費窓口無償化に向け、制度改正、関係機関との連携、新制度の周知等の準備を進め、年度末に全対象世帯に新受給資格者証の発送を完了できた。								
取組の 検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっ ている内容について記入してください。			課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。				
	医療費助成を行うことで、子どもの疾病の早期発見・治療に効果を上げる一方、医療費が年々増額するという課題がある。			・災害共済給付制度との重複防止策を講じる。 ・適正受診への啓発。 ・各機関の提出データに含まれる誤データや重複データチェック体制強化				
「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。								
・R7年4月から子ども医療費窓口負担無償化（現物給付）を開始し、経済的理由により受診を控えることによるこどもの病気や怪我の重症化を防ぐとともに、窓口負担を無くすことで、子どもの疾病の早期発見と早期治療促進をより強化する。 ・R7年度より、乳幼児医療給付事業と子ども医療費助成事業を一本化し、「子ども医療費給付事業」とする。 ・新制度開始に伴う今後の医療費の推移に注視し、高校生の無償化対応について慎重に検討していく。								

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
 B： " 99%～90% D： " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
施策の方向性	変化の激しいこれからの社会を生き抜くため、本市においては、ひおきふるさと教育を推進し、郷土の伝統や風土を生かした「風格ある教育」の推進により、「夢をもち あしたをひらく 心豊かな人づくり」を目指します。		
事業名	⑯ひおきふるさと教育の推進	担当課名	学校教育課
事業内容	本市の伝統文化、人物、自然や産業といった魅力ある素材を学習内容とした授業を展開し、児童生徒がふるさとに対する理解を深め、その学習活動を通して、「礼節」、「郷土愛」、「自然愛」、「奉仕」といった道徳性を身につけられるよう風格ある教育を推進します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (5年目)	R7 (最終年)
印刷製本・補助金	予算額	2,524,000	2,991,000	2,534,000	2,693,000	3,287,000	—
	最終予算額		当初予算額	当初予算額	当初予算額	当初予算額	
	執行額	1,923,220	2,410,138	2,450,332	2,443,082	2,554,281	—

基本目標における数値目標		区分		数値目標					
		合計特殊出生率 (5年平均)		1.62 (H29) ⇒ 1.68 (R7)					
重要業績評価指標状況(KPI)	KPIの内容	基準値		R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (5年目)	R7 (最終年)
	子どもが地域の行事に参加した割合(全国学力・学習状況調査)小学生	県平均 72.7%	KPI	72.70%	72.70%	72.70%	72.70%	—	—
			実績	—	80.0%	73.1%	75.0%	—	—
		評価(A～D)		—	A	A	A	—	—
	子どもが地域をよりよくしたいと考える割合(全国学力・学習状況調査)小学生	県平均 78.5% (R5)	KPI	—	—	—	—	78.50%	78.50%
			実績	—	—	—	—	89.2%	—
		評価(A～D)		—	A	A	—	A	—
	子どもが地域の行事に参加した割合(全国学力・学習状況調査)中学生	県平均 54.2%	KPI	54.20%	54.20%	54.20%	54.20%	—	—
			実績	—	53.6%	43.5%	44.9%	—	—
		評価(A～D)		—	B	C	C	—	—
	子どもが地域をよりよくしたいと考える割合(全国学力・学習状況調査)中学生	県平均 66.3% (R5)	KPI	—	—	—	—	66.30%	66.30%
			実績	—	—	—	—	85.4%	—
		評価(A～D)		—	A	A	—	A	—
	「ひおき学」に係る市民への周知(情報発信)	2回/年	KPI	2回	2回	2回	2回	2回	2回
			実績	2回	7回	8回	11回	12回	—
		評価(A～D)		A	A	A	A	A	—
	当該年度の実績と事業効果	市内の小学校14校、中学校5校、義務教育学校1校で、ひおきふるさと教育を実施し、全校の児童生徒が参加した。「ひおき学」「環境」等の学習ブックを配布し、様々な地域力を生かした内容を取り入れ、児童生徒の道徳性や郷土愛の育成に努めた。10月には土橋中校区が「ひおきふるさと教育」の研究公開を行い約60名ほどの教職員が参加した。また、年度末には「わが町ひおき検定」を行い、全校(20校)で1,347人の児童生徒が受験し、886人(約66%)の児童生徒が合格した。							

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	KPIの数値目標は達成しているが、多様な地域人材を確保していかなければ、学習内容がマンネリ化してしまうことが懸念される。		学校運営協議会が各学校に組織化されているため、この協議会を通じて講師となる地域人材の確保や体験授業の受け入れ先の拡充・拡大に繋げていく。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。	
小中一貫(9年間)で計画的に実施し、地域行事に中学生が企画するなどの取組も取り入れながら、児童生徒がふるさとに対する理解を深め、道徳性を身につけられるように取り組んでいく。 本市では、資源循環や脱炭素の取組など自然環境に配慮した施策を行っているため、環境教育も取り入れていくことを検討していく。	

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A: KPIに対して実績が100%以上 C: KPIに対して実績が89%～80%
 B: 99%～90% D: 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
施策の方向性	コミュニケーションの困難さ、障がいの有無、これまでの家庭環境等、さまざまな要因により不登校、ひきこもり、いじめ等へ発展することもあり、子ども支援センターへの相談件数は年々増加傾向にあります。こうした子どもたちや子どもたちを支える保護者からの相談は個々の環境や程度等によりきめ細かい対応が必要であることから、臨床心理士の配置等により支援体制の強化を図るとともに、各種相談機関との連携をはじめ、総合的な相談支援の充実と強化に取り組みます。		
事業名	⑦子ども支援センターの充実	担当課名	学校教育課
事業内容	・臨床心理士の配置等により子どもたちやその保護者に対するきめ細かい相談支援体制の強化を図ります。 ・各種相談機関との連携をはじめ、総合的な相談支援の充実と強化に取り組みます。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (5年目)	R7 (最終年)
子ども支援センター事業費 ふれあい教室事業費	予算額	14,724,000	10,023,000	10,847,000	10,838,000	12,295,000	—
	最終予算額	最終予算額	最終予算額	当初予算額	当初予算額	当初予算額	—
	執行額	14,316,890	9,387,216	10,971,859	10,623,122	12,119,481	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標					
		合計特殊出生率 (5年平均)		1.62 (H29)		⇒		1.68 (R7)	
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	 R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (5年目)	R7 (最終年)	
	子ども支援センター支援者に対する研修会の開催数	—	KPI	1回	1回	1回	1回	1回	1回
			実績	1回	1回	2回	3回	3回	—
		評価(A～D)		A	A	A	A	A	—
	子ども支援センターの相談に対する改善割合	80.00%	KPI	80.00%	80.00%	80.00%	80.00%	80.00%	80.00%
			実績	79.66%	77.19%	75.46%	73.02%	72.49%	—
		評価(A～D)		B	B	B	B	B	—
			KPI						
			実績						
		評価(A～D)							
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字(金額, 人数等)を用いて記入してください。	講演会は、かごしま子ども・若者総合相談センターに講師を依頼し、「不登校・ひきこもりの現状と支援の実践」の演題で開催した(8/17 参加者45人)。指導者研修会は、対面でのグループワーク方式等を取り入れ2回実施した(9/6 参加者63人、2/20 参加者55人)。相談活動として教育相談員による学校巡回訪問(398回)、SSWによる学校訪問(596回)、臨床心理士によるカウンセリング及び相談員等とのコンサルテーション(216回)等を行い、児童生徒や保護者等からの様々な相談に対応してきた。令和6年度の年間相談者実数は269人で、延べ相談回数は5,217回だった。								
取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。			課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。					
	学校関係では不登校や性格行動面等に関する相談、家庭環境では虐待や保護者のメンタル面、生活困窮、発達障がいのある子どもに関する相談など、長い期間支援することが必要なものが増えてきている。関係課・各機関等と連携して多方面から将来を見据えた重層的な支援が必要である。			教員専門員や保健師等が定期的に保育園・幼稚園への訪問等を行い、早期からの発達支援や保護者の児童発達の理解促進を図ると共に、SSWによる登校支援やふれあい教室での学習支援等を通して、不登校状態の解消・改善を図る。また、虐待事案や要支援家庭の支援は、ケース会議や要保護児童対策地域協議会実務者会議を通して、こども未来課や児童相談所、警察署等と連携した支援の強化を図る。					
「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。									
子ども支援センターの総合相談窓口(ワンストップ)としての機能を一層高めていくために、不登校や発達に特性をもつ児童生徒には、学校やふれあい教室と連携して、寄り添い型支援やきめ細かい電話相談・家庭訪問に努めていく。また、虐待等の緊急性が高い相談に対しては、こども未来課・福祉課等と連携して迅速な対応に努め、担当者会や個別ケース会議等を通して、関係各課及び支援者間の情報共有・支援方針の相互確認に努めていく。									

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A: KPIに対して実績が100%以上 C: KPIに対して実績が89%～80%
B: 99%～90% D: 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
施策の方向性	通常の移住時における支援に加え、子育て世帯の移住や住宅の新築等に伴う移住（ただし、地元業者の施工に限る。）を引き続き実施することで、子育てしやすい人口減少対策に努めます。 住まいの確保としての空き家の有効活用においては、資産価値の低い空き家について、不動産業者や建築士といった専門家と協議することで地域全体として価値を高められるような仕組みづくりについて検討します。		
事業名	⑱過疎地域移住定住促進事業	担当課名	地域づくり課
事業内容	市外から定住を目的に本市に転入し、補助対象地区に移住した場合、一定要件を満たす方に対して助成し、加えて子育て世帯や地元業者による新築等で移住した場合には助成金上限額を増額します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
36世帯の移住定住者に補助金を交付した。	予算額	20,000,000	21,700,000	20,000,000	18,000,000	16,312,000	—
	執行額	16,300,000	21,700,000	16,483,000	17,950,000	11,712,000	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標					
		合計特殊出生率 （5年平均）		1.62 (H29)		⇒		1.68 (R7)	
重要業績評価指標状況（KPI）	KPIの内容	基準値		R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
	過疎地域移住定住促進 事業利用者のうち移住 者数	63人/年	KPI	74人	74人	74人	74人	74人	74人
			実績	87人	118人	135人	121人	101人	—
			評価（A～D）	A	A	A	A	A	—
			KPI						
			実績						
			評価（A～D）						
			KPI						
			実績						
			評価（A～D）						
当該年度の取組内容と 事業効果 ※ なるべく数字（金額、 人数等）を用いて記入して ください。		令和6年度は、指標を越える101人（36件）の移住があり、定住促進が図られた。							
取組の 検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっ ている内容について記入してください。				課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。				
	移住定住を検討している方々に日置市移住を検討していただく ため、より広く情報発信をする必要がある。				今後においても随時事業周知を行う。				
「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。									
引き続き情報発信に努め、事業を実施する。									

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A : KPIに対して実績が100%以上 C : KPIに対して実績が89%～80%
B : " 99%～90% D : " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
(令和6年度実施分)

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
施策の方向性	通常の移住時における支援に加え、子育て世帯の移住や住宅の新築等に伴う移住（ただし、地元業者の施工に限る。）を引き続き実施することで、子育てしやすい人口減少対策に努めます。 住まいの確保としての空き家の有効活用においては、資産価値の低い空き家について、不動産業者や建築士といった専門家と協議することで地域全体として価値を高められるような仕組みづくりについて検討します。		
事業名	⑱空き家改修補助事業	担当課名	地域づくり課
事業内容	市内の空き家等を居住又は簡易宿所として活用する場合、改修・リフォーム費用等の補助を行い、加えて地元業者による施工の場合は、補助上限額を増額します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
15件の空き家改修に補助金を交付した。	予算額	7,000,000	10,000,000	10,000,000	7,178,000	7,364,000	—
	執行額	6,927,000	8,602,000	6,624,000	3,892,000	3,874,000	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標					
		合計特殊出生率 (5年平均)		1.62 (H29)		⇒		1.68 (R7)	
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値		R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
	空き家改修補助事業利用者のうち移住者数	6人/年	KPI	6人	6人	6人	6人	6人	6人
			実績	10人	25人	25人	16人	14人	—
		評価 (A～D)		A	A	A	A	A	—
	空き家改修事業のうち補助件数	9件/年	KPI	9件	9件	9件	9件	9件	9件
			実績	16件	28件	28件	16件	15件	—
		評価 (A～D)		A	A	A	A	A	—
			KPI						
			実績						
		評価 (A～D)							
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。		令和6年度は、指標を超える15件の空き家改修に補助金を交付し、32名が居住（うち移住者14名）しており、空き家の有効活用による定住促進及び地域の活性化が図られた。							

取組の検証	事業実施における課題	課題に対する改善策
	※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	※ 課題の対応策を記入してください。
	補助件数及び移住者数は前年と横ばいだが、KPIも達成しており、着実に空き家の活用が推進されていると考えている。課題は、空き家バンクの登録や移住の問い合わせが多く、対応する体制の充実を検討する必要がある。	空き家バンクの運営体制や登録プロセスなどの変更を検討し、今後の円滑な運営がなされるよう取り組む必要がある。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

関連企業への管理委託など、空き家バンク制度の見直しを検討していくこととする。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

A: KPIに対して実績が100%以上	C: KPIに対して実績が89%～80%
B: " 99%～90%	D: " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標③「訪ねてよし ひおき」～ひおきへの新しい人の流れをつくる～		
施策の方向性	これまでの体験型観光施策を実施するとともに、宿泊業者との連携によるスポーツ合宿誘致の推進や外国人旅行者の受入環境整備等の一環として観光のICT化に加え、本市の豊富な隠れた名所、歴史や風土がはぐくんだ伝統行事等の観光資源をより活かした観光施策へと展開するため、中長期的な観光戦略（ビジョン）について検討します。		
事業名	⑳バスツアーの充実	担当課名	商工観光課
事業内容	バスツアーを通じて本市の隠れた観光名所や古民家、季節ごとに楽しむことができる魅力等、多くの人に本市の良さを認知してもらい、交流人口の増加と口コミによる拡散を目指します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (5年目)	R7 (最終年)
日置市観光ガイド養成事業業務委託及びひおき周遊観光事業業務委託	予算額	100,000	1,050,000	500,000	500,000	500,000	—
	執行額	100,000	1,050,000	500,000	500,000	499,950	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標					
		観光地・観光施設 年間来訪者数		231万人 (R1)		⇒	252万人 (R7)		
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値		R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
	域外からのバスツアー受入れ人数（市観光協会、ガイド協会の受入れ人数）	1, 745 人/年	KPI	1, 756人	1, 767人	1, 778人	1, 789人	1, 800人	1, 811人
			実績	1, 589人	1, 750人	1, 779人	2, 914人	1, 302人	－
		評価（A～D）		B	B	A	A	D	－
			KPI						
			実績						
		評価（A～D）							
			KPI						
			実績						
		評価（A～D）							
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。		令和6年度は、観光周遊の促進や持続可能な観光推進体制の構築を目指し、観光関連事業者の現状や方針、要望等を把握及び分析し課題を整理するため、アンケートを実施した。 観光関連事業者アンケート調査の実施 1回（回答：111事業者/対象事業者：265事業者）							

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	アンケートを実施し、日置市の観光資源訴求力不足（目玉となる観光資源が少なく対外発信が弱い）や情報発信方法（ホームページやチラシ、Googleビジネスプロフィールの活用方法）などに関する課題が分かった。		日置市にある自然資源（温泉、吹上浜等）と文化資源（歴史、伝統工芸品等）の魅力をSNS等で再発信し、閑散期における観光資源のプロモーション施策の造成やInstagramやGoogleビジネスプロフィールの活用支援を強化し効果的な情報発信を行う。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。	
アンケート結果を踏まえて、滞在コンテンツの充実化や周遊ルートの造成、バスツアーの商品化を図る。また、日置市の魅力を来市された方にしっかりと伝えるため、ガイド養成（後継者育成）についても取り組んでいく。	

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
B： 99%～90% D： 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標③「訪ねてよし ひおき」～ひおきへの新しい人の流れをつくる～		
施策の方向性	これまでの体験型観光施策を実施するとともに、宿泊業者との連携によるスポーツ合宿誘致の推進や外国人旅行者の受入環境整備等の一環として観光のICT化に加え、本市の豊富な隠れた名所、歴史や風土がはぐくんだ伝統行事等の観光資源をより活かした観光施策へと展開するため、中長期的な観光戦略（ビジョン）について検討します。		
事業名	②スポーツ合宿やスポーツ大会等の誘致	担当課名	商工観光課
事業内容	日置市施設利用促進協会に地域おこし協力隊を配置し、市内体育施設の利用促進及びスポーツを通じた観光・交流人口の拡大を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (5年目)	R7 (最終年)
地域おこし協力隊（スポーツツーリズム推進）業務委託	予算額	—	—	—	—	4,488,000 当初予算額	—
	執行額	—	—	—	—	4,488,000	—

基本目標における 数値目標		区分			数値目標				
		観光地・観光施設 年間来訪者数			231万人 (R1)		⇒	252万人 (R7)	
重要業績評価指標状況（KPI）	KPIの内容	基準値		R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
	スポーツ合宿・スポーツ大会誘致件数	136 (R1)	KPI	—	—	—	—	130件	140件
			実績	—	—	—	—	93件	—
		評価（A～D）		—	—	—	—	D	—
			KPI						
			実績						
		評価（A～D）							
			KPI						
			実績						
		評価（A～D）							
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。		・合宿等利用団体数及び人数 利用団体数：93団体、3,900人 （令和5年度：157団体、10,113人、令和4年度：142団体、9,170人） ・令和5年度まで行っていた合宿補助金に代わる手段として、ガバメントクラウドファンディングをR6.11.15～R7.1.31の期間実施し、9,759,500円の寄附実績。 ・合宿誘致については年3回九州管内の学校を訪問し誘致活動を実施。うち1回は市長も同行。							
取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。				課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。				
	令和6年度に合宿補助金が廃止されたことも、要因の一つとして推察されるが、その他、市内には大きな宿泊施設が少なく個人経営の宿泊施設が多いため、廃業を含め合宿受入体制が年々厳しくなっている。				合宿補助金に代わる手段としてガバメントクラウドファンディングを実施し、その資金を基に宿泊補助等の運用を再開する。また、市や施設利用促進協会、宿泊施設やスポーツ施設においても周知を行う。				
「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。									
大きな宿泊施設の誘致が難しい状況であるため、日置市施設利用促進協会と連携し既存の宿泊施設を有効に活用するために情報共有を強化しながらスポーツ合宿や大会の誘致活動及び受入れを図っていく。また、今後もガバメントクラウドファンディングを活用した資金調達を行い、多くの団体が本市で合宿や大会を実施できる環境を整備していく。									

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
 B： " 99%～90% D： " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標③「訪ねてよし ひおき」～ひおきへの新しい人の流れをつくる～		
施策の方向性	これまでの体験型観光施策を実施するとともに、宿泊業者との連携によるスポーツ合宿誘致の推進や外国人旅行者の受入環境整備等の一環として観光のICT化に加え、本市の豊富な隠れた名所、歴史や風土がはぐくんだ伝統行事等の観光資源をより活かした観光施策へと展開するため、中長期的な観光戦略（ビジョン）について検討します。		
事業名	②③観光PR武将隊プロジェクト	担当課名	商工観光課
事業内容	戦国島津ゆかりの地である本市を武将のまちとしてイメージ戦略を図り、様々なイベント・行事等で甲冑姿の武将隊が観光プロモーションを行うことで、武将として体験できるまちづくりを目指します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (5年目)	R7 (最終年)
市内外のイベント等でPRを行い、SNS等による情報発信も合わせて行うことで、日置市の認知度向上を図った。	予算額	10,064,000	12,285,000	4,407,000	3,100,000	2,900,000	—
	執行額	9,793,960	11,234,500	2,917,000	2,730,848	2,719,759	—

基本目標における数値目標		区分		数値目標					
		観光地・観光施設 年間来訪者数		231万人 (R1)		⇒		252万人 (R7)	
重要業績評価指標状況（KPI）	KPIの内容	基準値		R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
	プロジェクト専用SNSフォロワー数 (Facebook, Instagram, Twitter)	420人/年	KPI	420人	450人	500人	500人	500人	500人
			実績	1,052人	1,578人	1,171人	1,366人	1,379人	—
		評価（A～D）		A	A	A	A	A	—
	甲冑体験活動拠点への来訪者数（来訪者、体験者及び出張体験参加者）	1,080人/年	KPI	1,080人	1,100人	1,200人	1,300人	1,300人	1,300人
			実績	546人	885人	982人	829人	589人	—
		評価（A～D）		D	C	C	D	D	—
			KPI						
			実績						
		評価（A～D）							
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。		●取組内容 ・ラジオ出演（毎月1回）/・県内イベント出演（5回）/・県外イベント出演（4回）/・フラワーゴラッド鹿児島ホームゲーム出演（6回）/取材対応（2回） ●甲冑等着付け体験 ・軍議場及び観光案内所での来訪者：301人/・甲冑等着付け及びVR体験者：288人							
取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。				課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。				
	本市には甲冑が稚児用含め55領あるがイベント時にしか活用されず、活用しても55領のうち半数程度となっている。武将隊や甲冑体験の認知度を向上していく必要がある、				イベントだけの活用だけでなく、甲冑を広く市民の方にも活用していただけるよう、学校や各種団体等への貸し出しを行えるようにする。また、武将隊については現在ほぼ市職員で構成されているため、ボランティアでの市民参加なども含め検討を行う。				
「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。									
8月末でよしとし軍議場を閉鎖し、現在は観光案内所2階で甲冑体験を市職員が対応している状況であることから、甲冑体験や貸出、SNSでの周知などを行ってもらえる地域おこし協力隊を募集し、武将隊と一緒に「戦国島津ゆかりの地」の更なるPRを図っていく。									

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
 B： " 99%～90% D： " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
(令和6年度実施分)

基本目標	基本目標③「訪ねてよし ひおき」～ひおきへの新しい人の流れをつくる～		
施策の方向性	これまでの体験型観光施策を実施するとともに、宿泊業者との連携によるスポーツ合宿誘致の推進や外国人旅行者の受入環境整備等の一環として観光のＩＣＴ化に加え、本市の豊富な隠れた名所、歴史や風土がはぐくんだ伝統行事等の観光資源をより活かした観光施策へと展開するため、中長期的な観光戦略（ビジョン）について検討します。		
事業名	②４クラフトマンヴィレッジ美山ツーリズム戦略推進プロジェクト	担当課名	商工観光課
事業内容	本市の特色ある観光資源である薩摩焼を軸とした観光施策を展開し、「クラフトのまち」としてのブランディングと交流人口の拡大を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
委託料 ①EBPM導入支援 ②資源の再発掘と多面的かつ戦略的な誘客促進	予算額	—	—	—	—	13,464,000 当初予算額	—
③伝統技術と文化の継承事業 ④受入環境整備支援	執行額	—	—	—	—	13,420,000	—

基本目標における 数値目標		区分			数値目標				
		観光地・観光施設 年間来訪者数			231万人 (R1)		⇒	252万人 (R7)	
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値		R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
	美山地区の観光入込客数 (1月1日～12月31日)	27, 978人/年 (R4)	KPI	—	—	—	—	33, 328人	38, 678人
			実績	—	—	—	—	24, 589人	—
		評価 (A～D)		—	—	—	—	D	—
	※参考 美山地域の人口・世帯数 (毎年1月1日基準)	619人 (R4)	KPI	—	—	—	—	621人	623人
			実績	—	—	—	—	623人	—
		評価 (A～D)		—	—	—	—	A	—
	※参考 美山地区内の店舗におけるGoogleビジネスプロフィール (GBP) のオーナー登録数	9 件 (R4)	KPI	—	—	—	—	17件	23件
			実績	—	—	—	—	12件	—
		評価 (A～D)		—	—	—	—	D	—
※参考 後継者育成プログラム修了者数	0 人 (R4)	KPI	—	—	—	—	—	—	2人
		実績	—	—	—	—	—	—	—
	評価 (A～D)		—	—	—	—	—	—	—
当該年度を取組内容と事業効果 ※ なるべく数字 (金額、人数等) を用いて記入してください。		近隣2市と連携して人流データを取得・分析し、本市の観光需要を他地域と比較して把握した。加えて、慶應義塾大学桑原研究室との共同研究により人流データの詳細な分析とアンケート調査を行い、既存の観光コンテンツの見直し案を地域に提示した。また、焼き物産地の視察及びヒアリングや専門家派遣を通じて、新たな観光コンテンツの造成や商品販売力強化に向けた支援内容を確立した。							

取組の検証	事業実施における課題	課題に対する改善策
	※ KPI達成に向けた課題や問題となっており内容について記入してください。	※ 課題の対応策を記入してください。
	美山地区で開催するイベントでは、天候不良や他イベントとの重複が原因で集客が減少した。人流データ分析からも市内の周遊性の低さが明らかになったため、イベントや天候に左右されない誘客を目指す必要がある。また、地区内事業者の休業や閉業があったほか、デジタル化への抵抗が強い事業者も多いことが、GBPの登録が進まなかった要因となっている。	観光客の属性や動態を詳細に分析しニーズを正確に把握した上で、イベントや天候に左右されない安定した観光誘客を目指し、市内全域での観光周遊の可能性を検討する。また、情報発信媒体を持たない事業者には優先的に支援し、GBPのメリットや活用方法を丁寧に説明することでオーナー登録を促進する。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

観光客の属性や動態分析を継続し、本市の観光ニーズを正確に把握しながら施策を展開する。また、各店舗における販売力強化を支援するセミナー等を実施するほか、日置市観光戦略5本の柱に基づくコンセプトツアーを実施し、イベントや天候に左右されない市内全域での観光周遊を促進する。GRPの活用については、個別支援を継続し情報発信体制の構築に取り組む。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

A: KPIに対して実績が100%以上	C: KPIに対して実績が89%~80%
B: " 99%~90%	D: " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標③「訪ねてよし ひおき」～ひおきへの新しい人の流れをつくる～		
施策の方向性	公共交通機関等で県外からもスムーズにアクセスできる立地条件にありますが、観光客の流れが集中して物産館等に留まっていることから、主要地方道にアクセスする市道路線の拡張等を行うことで、効率的な観光施設ネットワークを構築します。		
事業名	⑧日置市らしさを感じる魅力と活力あふれるまちづくり計画（市道）	担当課名	建設課
事業内容	国道3号・270号を中心に主要地方道や県道にアクセスする市道24路線及び林道2路線の道路拡張等を行うことにより、観光資源を結ぶ効率的な道路網のネットワーク化をはじめ、森林施業における効率化を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (5年目)	R7 (最終年)
令和5年度繰越において、市道6路線の工事等執行し、令和6年度現年においては市道7路線の工事・支障物移転補償を執行した。	予算額	590,000,000	1,055,349,000	749,241,000	449,429,000	352,157,000	—
	最終予算額		R2繰額+当初予算額	R3繰額+当初予算額	R4繰額+当初予算額	R5繰額+当初予算額	
	執行額	95,742,750	536,091,067	554,764,038	334,267,235	227,949,021	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標					
		観光地・観光施設 年間来訪者数		231万人 (R1)		⇒		252万人 (R7)	
重要業績 評価指標 状況（KPI）	KPIの内容	基準値		R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
	（再掲）観光地・観光 施設年間来訪者数	231万人 (R1)	KPI	244万人	246万人	247万人	249万人	250万人	252万人
			実績	205万人	209万人	206万人	241万人	236万人	—
		評価（A～D）		C	C	C	B	B	—
	（再掲）過疎地域移住 定住促進事業利用者の うち移住者数	63人/年	KPI	74人	74人	74人	74人	74人	74人
			実績	87人	118人	135人	121人	101人	—
		評価（A～D）		A	A	A	A	A	—
			KPI						
			実績						
		評価（A～D）							
当該年度の取組内容と 事業効果 ※ なるべく数字（金額、人 数等）を用いて記入してくだ さい。		令和6年度において、国道3号及び270号を中心に、観光周遊ルートやアクセス道の道路拡幅等の整備を進めた。新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、観光入込客数はコロナ禍前の水準に戻りつつあり、移住・定住者もKPIより高い水準で推移している。 R6計画路線：8路線（伊集院地域の国道3号と県道養母長里線を結ぶ路線等の整備、日吉地域の国道270号と県道伊集院日吉線を結ぶ路線等の整備、吹上地域の県道永吉入佐鹿児島線へのアクセス道路等の整備）							
取組 の検 証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっ ている内容について記入してください。				課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。				
	当該計画において、美山インターチェンジのフル化を計画しているが、市の財政状況を鑑み、着手延期を見込んでいる。				事業実施路線の選択と集中を図り、観光周遊ルートやアクセス道路の拡幅整備を確実に実施し各指標に対する目標達成を目指す。				

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※ 課題とその改善方を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

未改良路線の改良率を向上させるため、個別路線の計画について見直しを行う。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
B： 99%～90% D： 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標③「訪ねてよし ひおき」～ひおきへの新しい人の流れをつくる～		
施策の方向性	本市の豊富な歴史と文化を生かした「モノ」から「コト」への体験型の商品を開発することで、関係人口を創出します。さらに、空き家流通促進と関係人口創出のため滞在場所づくりを実施し、本市に継続的に関わる関係人口・人材へと増大させ、本市をフィールドに活躍してもらう場・機会の増大を図ります。		
事業名	⑤ひおきとプロジェクト	担当課名	地域づくり課
事業内容	市外住民とつながり、関係を深めるプロジェクト。関係人口＝ファンととらえ、市公式ファンクラブ「ひおきカメカメ団」を設立。お試し住宅カメハウスを「関係深化」の拠点と位置づけ、運営団体と密な連携を行っている。LR株式会社も事務局として参画している。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (5年目)	R7 (最終年)
お試し住宅の運営とまちのコインの導入を実施（国費100%のモデル事業）。	予算額	0	19,098,000	15,626,000	27,216,000	27,436,000	—
	執行額	0	19,098,000	14,694,000	27,138,240	27,231,881	—

基本目標における数値目標		区分		数値目標					
		観光地・観光施設 年間来訪者数		231万人(R1) ⇒ 252万人(R7)					
重要業績評価指標状況（KPI）	KPIの内容	基準値		R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (5年目)	R7 (最終年)
	ひおきカメカメ団登録者数	100人/年	KPI	50人	100人	100人	100人	100人	100人
			実績	—	89人	150人	122人	88人	—
		評価（A～D）		—	C	A	A	C	—
	お試し居住利用日数	100日/年	KPI	50日	100日	100日	100日	100日	100日
			実績	—	9日	268日	672日	440日	—
		評価（A～D）		—	—	A	A	A	—
			KPI						
			実績						
		評価（A～D）							
	当該年度の実績内容と事業効果		お試し居住は利用日数で数値化。内訳は、狐火ハウス170日/年、赤いえんとつの家56日/年、みやまと。65日/年、ゆのもと86日/年、黒川どんげえ63日/年。今年度利用が減少しているのは、前年度、受け入れ対応がキャパオーバーしてしまった反省から、予約の受け方を工夫し、利用日程前後を準備期間と工夫したことが理由。カメカメ団員の登録状況も減少しているが、関係人口の在り方が多様となり、カメカメ団登録者は、移住希望者の割合が多くなってきている。						

現在	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	課題としては、ひおきとプロジェクトの新規事業が増え、関係人口の在り方が多様化していること。カメカメ団員の数字だけでなく、ウェブメディア「ひおきと」の読書登録（LINE友だち登録：18,000人超）や、まちのコイン：とっばの登録者（1,500人超）も加味すると多くの方が関係人口化していると考え。		今後は、カメカメ団、ウェブメディア「ひおきと」の読書登録（LINE友だち登録）、まちのコイン：とっばの登録と関係人口としてつながる内容を精査することで、一体的な取組として推進する。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。	
ひおきとプロジェクトは、新規事業も加え、①情報発信・②カメカメ団登録・③お試し滞在・④WEB交流「ネオ日置」・⑤リアル交流「まちのコイン：とっば」の5つの取り組みを進めている。ネオ日置は、R5、R6の2年間で30,000人の来訪者があり、その中から移住者も生まれるなど新たな可能性も見えている。まちのコイン：とっばはスタートして7ヶ月経過した現在も登録者が順調に増えている。今後、この5つの取り組みのうち④と⑤をさらに進める人材を地域おこし協力隊制度を活用し設置する予定。	

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
B： " 99%～90% D： " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標④「ふれあいあふれてよし ひおき」～地域の連携を深め、若者から高齢者まで、安心して暮らせるまちをつくる～		
施策の方向性	少子・高齢化、核家族化の進展により、高齢者の単身世帯や二人暮らし世帯が増加してきています。このような状況を踏まえ、市民生活として欠かせない公共交通の維持を図るため、コミュニティバス事業や乗合タクシー事業を継続します。		
事業名	②⑥公共交通の維持・確保	担当課名	地域づくり課
事業内容	市民の移動手段を確保するため、交通不便地域での乗合タクシーやコミュニティバス事業を継続して実施します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
令和6年11月まで乗合タクシー運行事業（全地域26路線）、令和6年12月までコミュニティバス運行事業（伊集院地域）、令和6年12月から乗合送迎サービス事業（全地域7エリア）を交通事業者へ委託し、地域住民の移動手段の確保を行った。	予算額	39,000,000	38,700,000	40,890,000	31,334,000	95,367,000	—
	最終予算額		当初予算額	当初予算額	当初予算額	最終予算額	
	執行額	36,417,919	38,133,768	39,713,996	24,850,540	92,190,656	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標					
		市民アンケート満足度 （日置市の住みやすさ）		70.5% （R1）		⇒		75.0% （R7）	
重要業績評価指標状況（KPI）	KPIの内容	基準値	 R 2 （1年目）	R 3 （2年目）	R 4 （3年目）	R 5 （4年目）	R 6 （5年目）	R 7 （最終年）	
	※参考 公共交通の利用者延数	39,382人 （H30）	KPI —	—	—	—	—	—	
			実績 29,472人	27,590人	27,479人	26,427人	24,334人	—	
		評価（A～D）		—	—	—	—	—	
			KPI						
			実績						
		評価（A～D）							
			KPI						
			実績						
		評価（A～D）							
当該年度の取組内容と事業効果	乗合タクシー利用者延べ数【R 6】10,507人（対前年度比△3,257人） コミュニティバス利用者延べ数【R 6】9,822人（対前年度比△2,841人） 乗合送迎サービス事業【R 6】4,005人（対前年度比＋4,005人） ・令和6年11月に乗合タクシー運行事業（全地域26路線）を廃止。 ・令和6年12月にコミュニティバス運行事業（伊集院地域）を廃止。 ・令和6年12月から乗合送迎サービス事業（全地域7エリア）を導入しているが、効率的な運行ができていない状況。 ※乗合送迎サービス事業導入に伴い、車両購入やシステム利用料等の初期費用が発生しているため予算額が例年より増加している。								
取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。			課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。					
	利用者数は、乗合タクシー及びコミュニティバスの令和5年度実績（延べ利用者数約2,000人/月）には及ばない状況。予約が取れない状況も散見されており、制度の見直しが必要。			運行内容・運行時間に課題があることから見直しを行う。 また、適宜、必要な見直しや医療機関からの意見をもらいながら、乗合送迎サービスの運行を継続するほか出前講座等を通して制度の内容や現状の周知を行う。					
「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。									
国庫補助を活用した、郊外と街を繋ぐ公共交通の確保を検討。また、市内医療機関へ協力いただき、市民への制度普及に注力する。									

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
 B： " 99%～90% D： " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート
(令和6年度実施分)

基本目標	基本目標④「ふれあいあふれてよし ひおき」～地域の連携を深め、若者から高齢者まで、安心して暮らせるまちをつくる～		
施策の方向性	自らの命、自らのまちは自ら守るという防災の原点に立ったまちづくりを進めるため、防災知識の普及・啓発を推進するとともに、自主防災組織の充実強化を図ります。		
事業名	㊴自主防災組織の充実・強化	担当課名	総務課
事業内容	地域の防災力を充実・強化するため、防災知識の普及啓発など自主防災組織に対する支援を行います。		

单位：元

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
各自主防災組織への補助金交付 補助金 1,983 千円 (活動推進事業費補助 62組織) (資器材整備事業費補助 2 組織) (届出避難所運営補助 2 自治会)	予算額	2,650,000 最終予算額	5,650,000 当初予算額	4,650,000 当初予算額	6,127,000 最終予算額	2,225,000 最終予算額	—
	執行額	2,617,000	3,226,200	1,907,800	3,608,000	2,033,994	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標					
		市民アンケート満足度 (日置市の住みやすさ)		70.5% (R1)		⇒	75.0% (R7)		
重要業績 評価指標 状況（KPI）	KPIの内容	基準値		R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
	自主防災組織加入率 (2%アップ)	87.9% (H30)	KPI	86.10%	88.10%	90.10%	92.10%	94.10%	96.10%
			実績	88.0%	88.1%	89.3%	89.3%	90.3%	—
		評価（A～D）		A	A	B	B	B	—
			KPI						
			実績						
		評価（A～D）							
			KPI						
			実績						
		評価（A～D）							
当該年度の取組内容と 事業効果	防災出前講座開催24回、県防災アドバイザー派遣講座2回、鹿児島国際大学と連携した公開防災講座1回、計27回実施。グループワーク方式の災害想像ゲーム（DIG）や避難所運営ゲーム（HUG）、講演の実施を通して防災に対する啓発と共助の重要性についての周知を行った。その結果、新たに1自主防災組織が結成された。 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。 R5：組織数152、加入率89.3% R6：組織数153、加入率90.3%								
取組の 検証	事業実施における課題				課題に対する改善策				
	※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。				※ 課題の対応策を記入してください。				
	自治会長研修会や出前講座などを通じ、結成促進を図っているが、加入率の向上に結び付いていない。大規模災害等が発生すると公助が不足し、共助の重要性が増すことが分かっているが、「共助」の重要性についての啓発ができていないのではと思われる。				令和7年度は未結成の自治会に対してアンケートを実施して加入率の向上が進まない要因の掘り起こしを行う。				
「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性									
※ 課題とその改善策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。									
出前講座の開催数が増加してきているため、継続して出前講座等を通して自主防災組織による共助の重要性について周知を図り結成を促す。また、防災訓練や防災講習会等へ参加いただき結成促進を図る。 アンケート調査の結果を見て結成に前向きな自治会に対しては、自主防災組織について説明を行い、規約作成や結成に向けた支援を行う。									

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

A : KPIに対して実績が100%以上	C : KPIに対して実績が89%～80%
B : " 99%～90%	D : " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標④「ふれあいあふれてよし ひおき」～地域の連携を深め、若者から高齢者まで、安心して暮らせるまちをつくる～		
施策の方向性	将来にわたり持続可能な循環型社会の形成を目指し、家庭からの生ごみを堆肥化する食の循環に努めることで、ごみの減量と再資源化を推進します。		
事業名	㊸生ごみ回収事業	担当課名	市民生活課
事業内容	家庭などから排出される生ごみを回収し、堆肥化することで、環境にやさしい循環型社会を目指します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
生ごみの回収、堆肥化に伴う委託料	予算額	67,504,000	70,067,000	73,186,000	79,968,607	76,190,672	—
	執行額	66,790,190	61,809,809	73,185,180	70,805,719	67,721,696	—

基本目標における数値目標		区分		数値目標					
		市民アンケート満足度 (日置市の住みやすさ)		70.5% (R1) ⇒ 75.0% (R7)					
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値		R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
	生ごみ回収対象世帯数	12,929戸 (H30)	KPI	13,000戸	14,400戸	15,800戸	17,200戸	18,600戸	20,000戸
			実績	13,747戸	13,973戸	14,319戸	14,339戸	14,339戸	—
		評価 (A～D)		A	B	B	C	D	—
	生ごみ回収量	1,050 t (H30)	KPI	1,174t	1,298t	1,442t	1,569t	1,697t	1,860t
			実績	1,010t	1,027t	1,074t	983t	856t	—
		評価 (A～D)		C	D	D	D	D	—
			KPI						
			実績						
		評価 (A～D)							
	当該年度の取組内容と事業効果	SDGSの普及による効果や、市民が燃やさずリサイクルすることを選択し、CO2の排出抑制に理解と協力を頂いている結果が出ている。地域差があるものの、今まで取組んでいない地域からも事業に参加したいなどの話を聞き、説明会等を行いながら参加自治会の増加を推進している。また、CO2削減量は年間約1,700t、事業開始からの生ごみのリサイクル量は約8,300tを達成することができ大きく地球温暖化防止に貢献出来ている。							

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	市民が簡単に継続して環境アクションに参加できる生ごみ回収の趣旨が十分伝わっていない。		出前講座や広報紙等を活用し市民に対して環境への理解を深めてもらえるよう周知を行う。また、自治会単位での加入となるため、自治会長を中心に取り組みの主旨の理解を広げながら課題の改善を図っていきたい。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。	
SDGSが普及し、市民の理解と協力が更に大きくなったように感じる。一方で、未だに事業に取り組むことが新たなごみ出しの負担になるなどの消極的な意見も聞くことがあるので、様々な場面を通じて、この事業の良さをアピールしながら目標の達成に向けて取組む。	

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A : KPIに対して実績が100%以上 C : KPIに対して実績が89%～80%
 B : " 99%～90% D : " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標④「ふれあいあふれてよし ひおき」～地域の連携を深め、若者から高齢者まで、安心して暮らせるまちをつくる～		
施策の方向性	地域課題に向けては、既存事業や新たな取組の展開に加え、市内にはない域外の様々な特色ある個人や企業等の専門的知識とスキルが活かすことができるよう、多種多様なパートナーとの連携の機会を多く設け課題解決を図ります。		
事業名	⑩地域課題解決に向けた取組	担当課名	企画課
事業内容	地域課題が多様化する中で、住みやすく安心して暮らせるまちづくりを目指すため、地域内外の個人や企業等の多種多様なパートナーと連携して課題解決を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
企業等との連携による地域課題解決のための取組の推進	予算額	—	—	—	0 当初予算額	0 当初予算額	—
	執行額	—	—	—	0	0	—

基本目標における数値目標		区分		数値目標				
		市民アンケート満足度 (日置市の住みやすさ)		70.5% (R1) ⇒ 75.0% (R7)				
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
	新たにマッチングを実施し、企業等との地域課題に取り組んだ件数	6件	KPI —	—	—	6件	6件	6件
			実績 —	—	—	10件	13件	—
		評価 (A～D)	—	—	—	A	A	—
	地域課題の解決件数	0件	KPI —	—	—	1件	1件	1件
			実績 —	—	—	2件	2件	—
		評価 (A～D)	—	—	—	A	A	—
			KPI					
			実績					
		評価 (A～D)						
	当該年度の取組内容と事業効果	令和6年度は、地域課題の解決に向けて、新たに13件の企業や大学等との連携協定を締結し、循環型社会の形成や脱炭素社会の実現、人材育成、関係人口の創出など各分野での取り組みや検討・研究を開始しました。また、民間活力により、2か所（江口浜駐車場の「ツキヒテラス」や旧吹上浜キャンプ場の「フォレストアドベンチャー」）の市有財産の有効活用が図られました。						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっており内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	地域課題が多様化・複雑化する中で、さらに、地域課題の解決に向けた取り組みが有機的に発現できるような、市内複数の企業（市役所含む）の連携が必要です。	若者や女性などに選ばれるまちや地域課題解決に向けた様々なプロジェクトの有機的な発現を目指し、その基盤となる市内企業や市役所の魅力ある組織づくりに向けた連携を推進します。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。	
官民連携のコンソーシアムを設立し、市内企業（市役所含む）で働く従業員一人ひとりを個人として尊重し、自分らしくいられる組織の実現に向けて、継続的にインプット、対話、実践・内省を繰り返すことで組織の社会的価値の発揮を目指します。	

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
 B： " 99%～90% D： " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和6年度実施分)

基本目標	基本目標④「ふれあいあふれてよし ひおき」～地域の連携を深め、若者から高齢者まで、安心して暮らせるまちをつくる～		
施策の方向性	これまで空き店舗の利活用として運営してきた日置市男女共同参画センターにおいて、セルフケアや自己肯定感の理解を深めることなど様々な活動の定着が図られている中で、より機能の充実・強化が図られるよう地域間の利用状況格差に配慮したアウトリーチの展開を検討します。		
事業名	③日置市男女共同参画センターの充実・強化	担当課名	企画課
事業内容	個人を尊重し、多様な個性を生かす意識の醸成を図り、幅広い年代が気軽に立ち寄れる施設を目指します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)
日置市男女共同参画センターの 従事スタッフの人件費、セン ター内で開催される講座等の謝 金、施設維持費、消耗品等	予算額	3,795,000	3,532,000	3,793,000	3,951,000	4,298,000	—
	執行額	3,461,759	3,285,463	3,592,528	3,673,671	3,908,432	—

基本目標における 数値目標			区分		数値目標					
			市民アンケート満足度 (日置市の住みやすさ)		70.5% (R1)		⇒		75.0% (R7)	
重要業績 評価指標 状況（KPI）	KPIの内容	基準値		R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (5年目)	R 7 (最終年)	
	日置市男女共同参画女性センターの利用者数	1,664人/年	KPI	1,664人	1,664人	1,664人	1,664人	1,664人	1,664人	1,664人
			実績	1,367人	1,804人	1,773人	2,220人	2,229人	—	
		評価（A～D）		C	A	A	A	A	—	
	日置市男女共同参画センターによる講座受講者で「再度利用したいと思う」割合（アンケート結果）	90.0% (H30)	KPI	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上
			実績	100.00%	95.00%	96.55%	100.00%	100.00%	—	
		評価（A～D）		A	A	A	A	A	—	
			KPI							
			実績							
		評価（A～D）								
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。		男女共同参画の拠点施設として、語り合いの場、学び合いの場、息抜きの場を心掛け、運営に努めた。男女共同参画に関する講座や子育て支援に関する各種講座のほか、日常の相談だけでなく男女共同参画専門員や助産師・保健師の在館による相談日を設定し、誰もが気軽に話せる場の提供を行っている。（相談者に必要な支援が届くよう、関係各課と連携して実施した。） 【実績】総利用者2,229人、講座、イベント数64回、講座参加者数791人								
取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。					課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。				
	親子向けの施設であるイメージが強く、高齢者向けの講座を実施しても新規の参加者が少ない。また、特に高齢者男性については利用者も少ない（スタッフ聞き取り）ため、男女共同参画推進を図る観点からも複数の講座を開催するなど内容を工夫する必要がある。					令和7年度から日吉町の日日nova内に移転したため、移転を機に屋外の講座や料理教室など男性向けの講座を開催し、需要がある講座の掘り起こしを行う。また、利用者が多い伊集院町から離れたため、今後はInstagramも活用し、さらなる情報の発信を行っている。				
「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。										
様々な属性の方が訪れる日日novaの利点を生かし、学び、ふれあい、相談できる場所として引き続き施設の場所、使い方などについて、周知活動を行う。また、新しいフィールドでどのような講座に需要があるか、新しい講座を積極的に企画し、性別、年代、職業などに関係なく利用できる施設として認知されるよう活動を行う。										

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

A: KPIに対して実績が100%以上 C: KPIに対して実績が89%～80%

B: " 99%～90% D: " 80%未満